



2024.7.12

瀬戸ひなご幼稚園園長 神戸洋美

信頼関係を築く第1歩

7月8日・9日の2日間、個人懇談会を行いました。新しいクラスでのお子様の様子をお伝えすることと、保護者の皆様からご家庭でのお子様の状況を伺い、保護者様と担任との信頼関係を築くことを目的としています。少し時間は足りなかったかもしれませんが、ご参加いただきありがとうございました。

私も我が子の懇談会の時はドキドキして臨みました。フルタイムで仕事をしながらの子育てのため、学校のことは全て担任の先生にお任せで、絶対の信頼を置いていました。4人とも個性があり、成績や友だち関係、生活態度など、良いことも言われまし、厳しいご指摘をいただいたこともあります。もちろん担任の先生から注意されたことは我が子に伝えました（担任より厳しく?）。

夫と私の子どもですから勉強のことは高望みしても?と開き直り、どちらかという学力よりも友だち関係や生活態度に重点を置いて成長を見守ってきました。その子たちも親になり、今、中学校や小学校の懇談会に出かけ、私が言われたことと同じようなことを言われているようで、ため息をつきながら孫たちのことを話すその様子に笑って聞いています。

今回の個人懇談会を通じて「幼稚園のことは担任の先生に。」という信頼を保護者様からいただけるように、園長はじめ職員全員が責任をもってお子様の成長を見守っていきたくて思っております。これからも疑問に感じたこと、不明なこと、何かありましたら遠慮なくご連絡くださいね。



ラタ・ヤットラ祭

インドのお祭りの「ラタ・ヤットラ祭」をご存知でしょうか。ラタヤットラは祇園祭の元になったとも言われており、「ラタ」は「山車」、「ヤットラ」は「旅」という意味だそうです。今年も開催しようと思いましたが、昨年の会場が借りられず探していたところ、知り合いの方から頼まれ、春日井のひなご幼稚園とのご縁が繋がりました。会場としてお貸しすることになり、7月7日に行われました。

神様を置く場所は砂場をならして飾りつけをしました。運動場にはテントが並び、受付とゲームコーナーを設置、キッチンカーも3台並んで、インドカレーやおむすびの店が展開されました。幼稚園の台所でインド料理を調理し、お隣の公民館で飲食する場所を設置、3階ホールでイベントが開催されました。



参加者は春日井市内だけではなく、愛知県内・県外から多くのインド人の皆様が集まり、インドの民族舞踊や日本のお神楽などが披露され、最後に日本の盆踊りで大いに盛り上がったそうです。

私もご挨拶の機会を頂いたので、「何十億年前に地球が出来て、人類が誕生した時は一つの民族だったので、さかのぼればどの国の人ともつながっていると思います。子どもたちにもどの国の人ともお友だちであること、親やご先祖様を大切にすることを伝えていきます。」とお話しました。

瀬戸ひなごも様々な国のお子さんたちが通園されています。どの人とも仲良くする心が、自然に育つ環境を大切にしたいと思います。

プラス派? マイナス派?

「笑門来福」の由来は、お正月あそびの「福笑い」です。なぜ、こんな時期に?と思われるかもしれませんが、先日ある方から「あんたはいつも笑っとるね。ストレスは無いのかね?」と言われました。その時に「笑う門には福来る」という言葉を思い出したのです。これは何があってもいつも笑っていると幸せが訪れる、という意味だそうです。逆に自分の周りに起こったことをマイナス方向に受け止めると、幸せは逃げていくと聞きました。笑顔は人に元気を与え、自分にも福が訪れます。ぜひプラス方向に!

